

令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	鹿島市立七浦小学校 児童数 102 人	担当者名	橋川 圭子・木原 奈緒美
住所	郵便番号 849-1323 鹿島市大字音成戊1563	電話番号	0954-62-8821

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	読書マスターをめざそう！ ～読書は頭の栄養だ～
	取組期間	令和3年4月13日 ～ 令和3年11月30日

※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	102 人	実施日数	126 日	読書冊数	19726 冊	連携した団体数	2 団体
	取組内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> ① 図書委員会の子どもたちによる楽しいイベント ② 読み語りボランティアの方々や市民図書館の皆様による読み語り ③ 先生たちによる読み語り ④ ホットとする空間づくり（図書室環境整備） ⑤ 様々な読書推進活動 						
工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ① 児童が図書室に行きたい！本を読むのが楽しい！と思えるような雰囲気作りのために、図書委員会の子どもたちが年2回楽しいイベントを企画している。 <ul style="list-style-type: none"> ・6月の「あじさい祭り」では、季節の花であるあじさいをモチーフにした楽しい活動（スタンプラリー＆がちゃ、しおりづくり、ことば集め、あじさいの花をあつめよう）を行った。 ・秋の図書館祭りの前に、図書集会（〇×クイズ、図書館祭りのPR、おすすめの本の紹介）を開き、「読書の秋」を全児童に意識づけた。 ・10月の「秋の図書館祭り」では、言葉あつめ、読み聞かせ、しおり作りを日替わりで行い、図書室に来たら宝くじをわたし、お祭りが終わった後に発表を行う。宝くじの当選者には、特別の「もう1冊券の10枚つづり」のプレゼントなど最後までワクワクを感じさせる取り組みを行った。 ② 読み語りボランティアの方々や市民図書館の皆様による読み語り <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の読み語りボランティア」の方々には、2か月に1回、分校を含め、各学年に朝の時間を使って、読み語りをさせていただいた。児童の発達段階や読み聞かせの時の様子などから本選びをしてもらった。また、ハロウィンが近い時期だと、ハロウィンにちなんだ本の読み語りが終わった後に、ハロウィンの飾りを子どもたちと一緒に作るなど楽しい企画をいつも考えていただいている。 ・市民図書館おはなしとどけ隊の皆さんによる読み聞かせを年1回昼休みに行っている。対象は1～3年生である。今年度は、パネルシアターで、地元鹿島市に言い伝えられているお話をさせていただいた。 							

	<p>③ 先生たちによる読み語り（年2回朝の時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が6つの教室に分かれ、本の読み聞かせをする。児童は事前にどの本の読み聞かせを聞きたいか決めておく。毎回テーマ（例えば「命の大切さ」など）を決め、「命の大切さ」がテーマの時は「命」に関わる本の読み聞かせをすることで、命の大切さを感じ、命ある全てのものを大切にすることを育てることを目的とする。読み聞かせの後、感想を書き、全員の感想を掲示する。 <p>④ ホットとする空間づくり（図書室環境整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに職員（用務員・司書）手作りによる木製本棚が完成した。スチール棚から木製に変わったことで、木のぬくもりを感じ、ホットとできる空間が広がっている。 ・展示コーナー（4月1年生へ 5月エリックカールさん死去 4/5月の人気作家 7月オリンピック 8月人気のヨシタケさん 9月防災の日 10月ハロウィン） ・児童作品コーナー（4年生 前年度末の国調べ 3年生おすすめの本の紹介・パラリンピック 1年生のりもの図鑑） ・季節にあった図書室掲示や図書室に向かう掲示板作りを行った。児童が図書室に足を運ぶ楽しみにもなっている。 <p>⑤ 様々な読書推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の貸出冊数のお知らせ（おたより、先生へ集計表配付） ・おすすめの本完読者のお知らせ（おたより、掲示物、先生へ）完読者には、ご褒美しおりやサービス券のプレゼント ・おすすめの本の募集 図書だよりや掲示で紹介する。 ・市民図書館巡回図書「みにみに図書館」を2ヶ月に1回利用する。
取り組んだ感想	<p>本校の児童は、これまでも図書室に足を運び、本に親しんでいた。しかし、個人差があることから、今年度は、これまであまり読書ができていなかった子どもたちが図書室へ足を向けるようになるように、「読書マスターをめざそう！ ～読書は頭の栄養だ～」を合い言葉に上記の取組を行った。昨年度、貸出冊数が少なかった児童が今年度はよく、図書室に来ている姿が見られる。今年度の大きな成果だと思っている。</p>
これまでの取組や今後の取組予定	<p>今年度、初めて、「スクール読書チャレンジ運動」に応募することで、職員も一丸となって、本好きの子どもたちを育てたいという思いで取り組むことができた。子どもたちにとって、図書室をホットとできる安らぎの空間、そして、読書の世界を広げられる気持ちのよい空間につくりあげていきたい。</p>

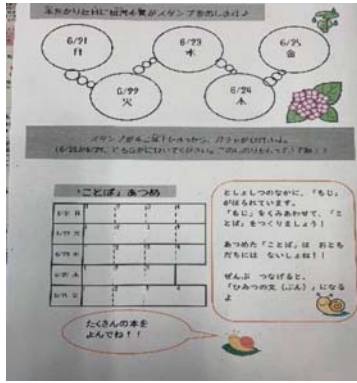
※本報告書は簡潔に記述し、**A4 サイズ 2 頁以内**とし、**取組内容が分かる資料**（写真、イラスト、取組前後の比較データ等）を **A4 サイズ 3 頁以内**にまとめて、添付してください。
報告書・資料の様式は PDF を基本とし、他形式も可（復号化必要）としますが、一度にメール添付できる容量は**5MB**までですので、これを超える場合は写真の解像度を落とす等の工夫をし、必要に応じ圧縮、分割送付などの処理をお願いします。
 ※県のホームページに掲載しますので、写真等は、「個人が特定できないもの」または「本人の了承を得ているもの」をお願いします。

Ⅲ.応募する【提出期限：令和3年12月13日（月）】

実践報告書は、データ（PDF版）で佐賀県まなび課まで電子メールにより送信してください。

「スクール読書チャレンジ運動」実践報告資料

① 図書委員会によるイベント



「あじさいまつりのしおり」



「スタンプラリー&がちゃ」



「ことばあつめ」

文字をつなげると、ある「ことば」に。毎日ちがう「ことば」を集めると、一週間で「秘密の文」に！



「クラス対抗あじさいの花をさかせよう」

「図書館祭り」
が終わっても、
宝くじの当選
を楽しくしてみ
る児童にす
る。番号
「ぼくの番号
あるかな？」



「宝くじの当選番号発表」

② 読み語りボランティアや市民図書館の皆様による読み語り



「地域の方による読み語り」



「市民図書館より”おはなしとどけ隊”」



「テーブルシアター」「パネルシアター」「紙芝居」に、身を乗り出して聞き入る児童たちでした。

③ 先生たちによる読み語り



「読み語り後の感想」を掲示

④ホッとする空間づくり（図書室環境整備）



スチール製の本棚から木製の本棚に。あたたかい雰囲気になりました。

季節や行事にちなんだコーナーです。



ボックスアートなどを展示し、関連した本を近くに置くことで、興味をもたせるきっかけ作りにも。



児童作のおりがみコーナー。楽しい雰囲気作りに。

⑤様々な読書推進活動



各学年の「おすすめの本35冊」。完読者の名前を掲示したり、完読賞として、「もう1冊券」セットやしおりなどをプレゼント。先生方にも月末に完読状況をお知らせし、クラスで声かけをしてもらっています。



2ヶ月に一度、市民図書館より巡回をしてもらい、各学級に「みにみに図書館」を設置。児童は、図書館司書さんセレクトの本を楽しみにしています。



図書室に、「児童のおすすめの本」を記入する用紙を設置。記入したものは、「図書だより」等で紹介しています。